



令和7年度 水道・下水道事業会計の決算

いつでも安全で安心して利用できる強靱な上下水道を目指して

決算は9月3日開会の市議会定例会で審議されています。

問い合わせ 上下水道部総務課（市庁舎水道棟2階、☎65・4212）



令和7年度決算の情報は9月下旬に公開予定です。



帯広市上下水道部
キャラクター
ミナモくん

水道事業会計の決算

おいしい水道水を安定供給するための収支

収入は44億4091万円（前年度比0.3%減）、支出は39億2337万円（同1.8%増）で、5億1754万円の黒字となりました。施設等の維持管理費の増加などにより、黒字額は前年度と比較して減少しました（同13.8%減）。なお、黒字分は借入金返済や施設の更新などに使用する予定です。

水道施設や水道管を整備、更新するための収支

収入は9億7373万円（同1.8%増）、支出は28億9434万円（同6.8%減）です。収入の不足分は施設を更新するために備えていた財源で補てんしました。

下水道事業会計の決算

汚れた水を集めてきれいにするための収支

収入は52億2893万円（前年度比0.4%増）、支出は45億7454万円（同0.1%増）で、6億5439万円の黒字となりました。十勝川浄化センターの維持管理負担金の減少などにより、黒字額は前年度と比較して増加しました（同2.6%増）。なお、黒字分は借入金返済や施設の更新などに使用する予定です。

終末処理場や下水道管を整備、更新するための収支

収入は18億2726万円（同60.4%増）、支出は31億4594万円（同25.2%増）です。収入の不足分は施設を更新するために備えていた財源で補てんしました。

おいしい水道水を安定供給するための収支

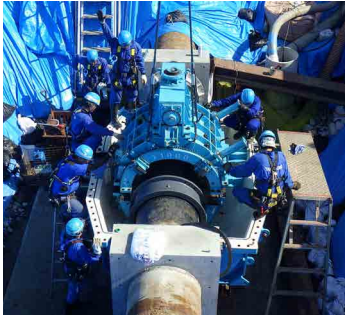
収入	支出
44億4091万円	39億2337万円
水道料金 31億4342万円 (70.8%)	水道水の購入費 7億6924万円 (19.6%)
一般会計負担金・補助金 6億6410万円 (14.9%)	減価償却費※ 16億9755万円 (43.3%)
その他 6億3339万円 (14.3%)	維持管理費 8億5404万円 (21.8%)
	職員給与費 2億8599万円 (7.3%)
	借入金利息 1億7834万円 (4.5%)
	その他 1億3821万円 (3.5%)
	収支差引額 5億1754万円 (3.5%)

水道施設や水道管を整備、更新するための収支

収入	支出
9億7373万円	28億9434万円
借入金 6億8420万円 (70.3%)	水道布設工事やメーター設置経費など 18億2941万円 (63.2%)
補助金 1億1975万円 (12.3%)	借入金の元金返済 10億6493万円 (36.8%)
補償金 1155万円 (1.2%)	
一般会計負担金・出資金 1億5823万円 (16.2%)	
収支不足額 19億2061万円	

水道事業会計の主な取り組み

- ▶水道料金基本料金の6ヵ月間免除
- ▶水道料金・下水道使用料体系の検証
- ▶老朽化した水道管の更新
- ▶重要施設に接続する水道管の耐震化
- ▶地震対策として稲田浄水場配水池への緊急遮断弁の設置（右写真） ーなど



汚れた水を集めてきれいにするための収支

収入	支出
52億2893万円	45億7454万円
下水道使用料 29億790万円 (55.6%)	減価償却費※ 23億8544万円 (52.2%)
一般会計負担金・補助金 11億7932万円 (22.6%)	維持管理費 17億8174万円 (38.9%)
その他 11億4171万円 (21.8%)	借入金利息 2億3万円 (4.4%)
	職員給与費 1億2093万円 (2.6%)
	その他 8640万円 (1.9%)
	収支差引額 6億5439万円

終末処理場や下水道管を整備、更新するための収支

収入	支出
18億2726万円	31億4594万円
借入金 10億4250万円 (57.0%)	借入金の元金返済 15億8850万円 (50.5%)
国庫補助金 5億934万円 (27.9%)	下水道施設工事や終末処理場設備更新経費など 15億5744万円 (49.5%)
一般会計出資金・補助金 2億1714万円 (11.9%)	
その他 5828万円 (3.2%)	
収支不足額 13億1868万円	

下水道事業会計の主な取り組み

- ▶地震による液状化のおそれがある地区のマンホール浮上可能性の調査
- ▶道路陥没事故の未然防止に向けた管径2メートル以上の下水道管路の調査
- ▶老朽化した下水道管の更新
- ▶十勝川流域下水道事業への汚水処理統合に向けた下水道管の整備や帯広川下水終末処理場の施設改修
- ▶浸水被害などが起きたことのある地域を優先した雨水管の整備（右写真） ーなど



これからの水道・下水道



令和7年度の決算は、水道事業会計、下水道事業会計ともに純利益を確保するなど、健全経営を維持できました。

しかし、今後は人口が減少し水道料金・下水道使用料収入の減少が見込まれる一方、多くの老朽化した施設などの更新が必要となります。

今後も生活に必要不可欠な上下水道サービスを安定供給するため、中長期的な視点に立ち、上下水道ビジョンや経営改善プランの取り組みを進めていきます。また、経営の効率化により健全な企業経営を維持するとともに、計画的な施設の更新や、災害に強い施設づくりなどを行っていきます。